

安房高等女学校木造校舎を愛する会

(安房南高等学校 旧第一校舎・千葉県指定有形文化財)

会報 第9号

2024. 7. 7.



【会員募集中】 年会費 1,000 円

ゆうちょ銀行 振替払込 00270-4-87431

名義：安房高等女学校木造校舎を愛する会

事務局：NPO 法人安房文化遺産フォーラム

〒294-0045 千葉県館山市北条 1721-1

TEL&FAX 0470-22-8271 Eメール awabunka@awa.or.jp

今年度は 千葉県教育委員会の方針により、

安房南高校 木造校舎の公開事業（見学会）は休止 となります。

残念ながら、しばらくは建物内への立ち入りもできませんので、館内の清掃や巡視は管理者である安房高校におまかせします。

木造校舎を愛する会 では、草刈りの環境整備のみ 年3回おこないます。

2024年 7月20日（土）8:30～

*雨天時は翌日の日曜に順延します。

〃 10月5日（土）9:00～

*各自で暑さ対策のうえ、刈払機や鎌などの

2025年 3月29日（土）9:00～

道具のご持参をお願いします。

なお、千葉県文化財保存活用大綱には <県が所有する文化財である「千葉県立安房南高等学校旧第一校舎」については公開・活用を推進します> と明記されています。文化財の適切な保全として外壁の塗装や必要な修繕をしたうえで、見学会が早期に再開されるよう、当会から県教育委員会に要望をしています。

また、よりよい保存・活用と国指定文化財への格上げについて署名運動をはじめます。詳しくは4面をご覧くださいのうえ、ぜひご協力をお願いいたします。

* 県立安房高校 旧管理棟「無弦館」が千葉県登録文化財に決定！

1931（昭和6）年に建てられた旧制安房中学校の木造校舎（管理棟）は、1981（昭和56）年の新校舎建設の際に一部を移築保存して歴史資料館とし、旧校歌にちなんで「無弦館」と命名されました。元校長室や応接室の中心飾りなどにアールデコの意匠を用いた洋風モダンデザインを取り入れています。

旧安房南高校第一校舎（県指定有形文化財）と並び、安房高校の木造校舎が文化財となったことは、地域住民の誇りです。



安房高校旧校舎（船田正廣 画）

文化財めぐりバスツアー in 館山

< 定員 20 名・要予約 090-6479-3498 池田/090-9342-3638 関 >

2024年 8月19日（月）9:30～16:30 集合 9:20 館山市役所 4号館P 参加費 1,000 円（弁当付）

< 見学地 > 安房高校「無弦館」（県登録）～ 小原家住宅（国登録）

～ 小谷家住宅 / 青木繁「海の幸」記念館（市指定）

～ 円光寺 / 波の伊八の欄間彫刻

～ 小高記念館 / TRAYCLE Market & Coffee（国登録）

【参考動画】

たてやま歴史建物探訪も
お楽しみください。

YouTube



木造建築の伝統美に感銘

旧安房南高 一般公開に市民ら760人

館山

県指定有形文化財の旧県立安房南高校木造校舎（館山市北条）で19日、一般公開が行われた。地域内外から760人の来場があり、木造の建築美や同校の歴史に触れ、見学を楽しんだ。

郷土の文化財の理解を深めるとともに、文化財を活用したイベントとして県教委と安房高校が毎年実施している。NPO法人安房文化遺産フォーラムが企画運営し、安房高等女学校木造校舎を愛する会が協力した。

同木造校舎は、関東大震災の教訓をもとに、耐震構造建築として、古い日本の木造建築と当時の新しい西洋建築の要素を融合させ、昭和5年に建築。昭和初期の県の学校建

築の姿を今に伝える建物を、平成7年に和後期の生徒の活動の有形文化財（建造物）に指定された。まや、各授業で使用された、数多くの映画やドラマのロケ地としても使用されている。多様な展示物が並ぶ教室ごとに展示が設けられ、明治から昭和の建築関係者、ドラマのファンなど多くの人が足を運び、展示物や建築様式に目を向け、懐かしんだり感心したりする様子が見られた。

卒業生やその家族、建築関係者、ドラマのファンなど多くの人が足を運び、展示物や建築様式に目を向け、懐かしんだり感心したりする様子が見られた。



訪れた卒業生ら＝館山

という家庭科のノートを持参した、昭和30年の卒業生、杉田敏子さん（87）＝埼玉県＝は、「毎年楽しみに来ている。この古い机に向かって勉強していたのですね。多くの人に、どのように学んでいたかを知ってもらえればと思いノートを持ってきました。寄付するつもりです」と話していた。



▲ 木造校舎の紹介動画やパンフレットはこちらから見られます。



スタッフの皆さん、お疲れ様でした！

<見学会アンケート結果>

(回答数 233 枚)

- ・性別：男 54 / 女 177
- ・年代：10～20代 = 30 / 30～40代 = 46 / 50～60代 = 117 / 70代以上 = 38
- ・立場：卒業生 = 101 / 一般 = 111 / 教育関係 = 10 / 行政 = 4 / 建築関係 = 3 / 文化財関係 = 1 / まちづくり関係 = 1
- ・参加回数：初めて = 179 / 2回目 = 25 / 3回目以上 = 28

<感想>

- ・おもむきのある建物、入念な維持に感嘆。「記憶の器」としての建物の力を感じました。
- ・貴重な木造校舎をじっくり見られて幸せです。とても感動しました！来年もまた開催をお願いします。
- ・歴史を感じられて、とても面白かったです。廊下が輝いていて驚きました。心が清くなった気がしました。
- ・細部の細かい装飾に女学校らしさを感じました。セーラー服の人形もかわいかったです。
- ・こんなに綺麗に保存されているとは思いませんでした。皆様のご苦勞に感謝します。
- ・素晴らしい建築物でした。90才の祖母が卒業ということもあり、今回一緒に訪ねました。
- ・80代の母を連れてきました。足腰が弱くなったけれど、来年また行かれるように体を動かしておこうという気持ちになり、生きがいとなったようです。
- ・30年前に卒業しました。とても懐かしく心が安らぎました。こんな素敵な校舎で学べたことは光栄です。
- ・懐かしい校舎、自分が通っている時には意識していなかった校舎の素晴らしさを感じました。
- ・半世紀ぶりの母校、感激しました。大切な校舎を末永く保存していただきたいと思っています。
- ・在学中の作品や文集など、多くの展示物が綺麗に保存されていることもうれしかったです。
- ・大正4年生まれ之母が安房高女の卒業生でした。母の面影を見た思いです。
- ・歴史や卒業生の方々のあゆみ、思いに触れられたようで、素晴らしい体験でした。
- ・貴重な歴史資料や教材も分かりやすく、在学当時に気づかなかったことも知れてよかったです。
- ・昭和の建物に感動しました。使用しないと傷んでくると思うので、活用できればよいと思います。
- ・『ミステリと言う勿れ』のロケ地ということで東京から来ました。写真やサインがあり、とても嬉しかったです。校舎がとってもチャームングでとても感動しました。ありがとうございました。
- ・『私を離さないで』のロケ地となっていたため、年に一度というこの機会に他県より足を運びました。とても素敵な木造作りに感動しています。ぜひ今後も続けて頂きたいです。
- ・各所のお花に心が和みました。準備、ありがとうございました。大変な作業に感謝します。
- ・天井の傷みなど早急に修繕が必要だと感じました。となりの講堂も残してほしいと思いました。
- ・よりよい活用につながり、いつでも校舎に入れるようになることを望んでやみません。

“木造校舎を愛する会”では、学校博物館としての保存と活用をめざし、
千葉県指定文化財から国指定文化財への格上げを希望しています！

オンライン署名も始めました。

署名用紙も同封します。皆様のご協力をお願いいたします。<裏面参照>

Report

安房南高校から始まったウガンダ支援交流が30年目を迎え、

NGOのスチュアート・センパラさんが来日しました！ 2023年9月に記念式典

内戦後の混乱からウガンダを再生させるため、持続可能な農業指導者を目指して日本に留学していたセンパラさんは、「かたにた婦人の村」の紹介で安房南高校を訪問し、講演をしました。孤児やエイズの窮状を知った同校の生徒会では、1994年からバザーや募金による支援活動を始めました。2000年には不要ミシンを送り、職業訓練校として「安房南洋裁学校」がウガンダに開かれました。2014年の20周年記念に贈ったセーラー服銅像も大切にされています。

今でも、私立安房西高校 JRC（青少年赤十字）部が支援活動を引き継ぎ、NPO 法人安房文化遺産フォーラムとともに、安房・平和のための美術展やウガンダコーヒーを取り扱う喫茶店などの協働でチャリティ支援と交流を継続しています。



千葉県知事 熊谷俊人 様
千葉県教育長 富塚昌子 様

NPO法人安房文化遺産フォーラム 代表 愛沢伸雄
安房高等女学校木造校舎を愛する会 会長 片方義明

安房南高等学校旧第一校舎（千葉県指定有形文化財）の 保存活用および国指定文化財への格上げの要望書

関東大震災の教訓をもとに、千葉県立安房高等女学校は技術の粋を集め、和洋折衷のすぐれた意匠を施し、1930年に建てられました。左右対称に大きく羽を広げた白鳥のように美しい姿は、女子教育の殿堂にふさわしいものでした。戦後は千葉県立安房南高等学校となり、国内外で活躍する卒業生を多く輩出しています。鉄筋RC造に改築されていった時代に、同校の旧第一校舎（以下、木造校舎と略）は保存され、1995年に千葉県指定有形文化財となりました。

ところが、2008年の学校統合により閉校となり、日常的に使用されなくなりました。少子高齢化が進む現代社会において、木造校舎は心の拠り所であり、地域住民の誇りを醸成し得る文化遺産です。安房地域の観光においても、重要景観建造物として魅力的なランドマークといえます。

そこでNPO法人安房文化遺産フォーラムが事務局を担い、2017年に「安房高等女学校木造校舎を愛する会」を発足しました。以来、千葉県教育委員会が主催する公開事業の企画運営をはじめ、館内の巡視や清掃、草刈りなどの環境整備に協力してきました。しかし閉校から16年を経た木造校舎は、塗装も剥げ、損傷が進んでいることを大変憂慮しています。

また、学校には明治期以降の貴重な教育資料も多く残されています。教員養成など、先駆的な女子教育が果たされていたことや、混乱した戦時下や占領軍の直接軍政下における教育なども明らかになっています。教育実践の歴史的価値は高く、学校博物館としての活用も期待されます。

『千葉県文化財保存活用大綱』には、「県は、市町村と連携し、県として重要と認められる文化財については、県指定文化財に指定するよう取り組みます。また、国による国指定等への取組について、県及び市町村は、国と連携して取り組みます。市町村が国指定等を目指す場合においては、県は、国との連絡調整を行います」と明記されています。市・県・国と地域住民が一丸となって、文化遺産を未来に継承するために、国指定文化財への格上げを要望いたします。

氏名	住所	※「同上」や「リ」は無効となる場合があります。
	都道 府県	市区 郡
	都道 府県	市区 郡
	都道 府県	市区 郡
	都道 府県	市区 郡
	都道 府県	市区 郡

◎ 署名簿の送り先：NPO法人安房文化遺産フォーラム FAX:0470-22-8271
〒294-0045 千葉県館山市北条1721-1 メール: awabunka@awa.or.jp

◎ インターネット署名もあります。 <https://www.change.org/awaminami-kousya> ▶



◀ 木造校舎の紹介動画やパンフレットはこちらから見られます。
<https://awa-ecom.jp/aisurukai/section/woodenschool/>

